



2020年3月13日

各 位

東京都千代田区麹町三丁目2番4号
会社名 株式会社スリー・ディー・マトリックス
代表者名 代表取締役社長 岡田 淳
(コード番号: 7777)
問合せ先 取締役 新井 友行
電話番号 03 (3511) 3440

営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社グループは、2020年4月期第3四半期連結累計期間（2019年5月1日～2020年1月31日）において、営業外収益、営業外費用、特別利益及び特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の内容

当社グループは、日本、米国、及び欧州にて研究開発活動を行っておりますが、その内当社欧州子会社の3-D Matrix Europe SASは、自己組織化ペプチド技術を外科領域において吸収性局所止血材の適応拡大、後出血予防材、次世代止血材等の研究開発を進めており、それらの研究開発活動に対し、フランス政府より受領した補助金22,157千円を営業外収益として計上しております。

2. 営業外費用の内容

当社グループは、2020年4月期第3四半期連結累計期間（2019年5月1日～2020年1月31日）に150,421千円の為替差損を営業外費用として計上しております。

これは主に当社連結子会社が保有する外貨建て資産等の為替相場の変動により生じる評価替えによるものです。

また株式交付費として11,244千円及び支払利息として5,844千円を営業外費用として計上しております。

3. 特別利益の内容

当社グループは、ストック・オプション制度を採用しておりますが、権利保持者の失権（退職）に伴い、当該新株予約権について新株予約権戻入益7,616千円を2020年4月第3四半期連結会計期間（2019年11月1日～2020年1月31日）に新たに計上し、2020年4月期第3四半期連結累計期間（2019年5月1日～2020年1月31日）に21,256千円の特別利益を計上いたします。

4. 特別損失の内容

当社グループは、前期末で有形固定資産及び無形固定資産の減損を行っております。資産内容は本止血材や歯槽骨再建材等の医療製品事業に関する検査機器、特許権及び特許実施権ですが、事業遂行

の過程で相互に関連することから一つの資産グループと見做し一括の減損処理を行ったものです。当期も四半期毎に減損の兆候が生じた対象資産について、当期以降の収益性を見積り、対象資産の帳簿価額と回収可能性額を比較検討し、減損処理の判定を行っております。

2020年4月期第3四半期連結会計期間(2019年11月1日～2020年1月31日)について新たに当該期間に資産計上した特許に関する長期前払費用等固定資産約37,323千円の減損処理を行い、2019年4月期第3四半期連結累計期間(2019年5月1日～2020年1月31日)に121,060千円の特別損失を計上いたします。

5. 業績に与える影響

本件の通期業績に与える影響につきましては、本日公表予定の「2020年4月期 第3四半期決算短信[日本基準](連結)」をご覧ください。

以 上